

.....
第 80 回新制作展鑑賞会の参加報告(金成幸伸君筆)
.....

1. はじめに

今回報告者として指名されました私、金成幸伸について自己紹介させて頂くとともに指名された経緯について記します。

出身は江名中学校で髻高3年6組(担任 牧野聡一郎先生)です。

9月3日に開催された在京髻高同窓会に初参加した際、同席した猪狩恒男君と原雅英君の御二方と50年ぶりに再会しました。

話が弾み髻高18回卒在京会も活発に活動している事を知らされると同時に今回の「五十嵐健治君の第80回新制作展入選作品の鑑賞会」への参加を誘われました。

私は、もともと絵画や美術品の鑑賞が好きで あちこちの美術館に通っており、今回の国立新美術館には去年の二科展も見に来ておりました。

権威ある新制作展に毎年入選する実力を持つ髻高同級生がいて、その同級生が直接、会場内や作品を案内して下さるとのことなので 興味もあり 二つ返事で参加させて いただいた次第ですが 待ち受けていた五十嵐君を始めとした同級生全員から「今回参加出来ない仲間達に対する 名刺代わりに鑑賞会の報告を書け」と厳命され 書かざるを得なくなった次第です。

！以上 自己紹介と参加経緯！

2. 鑑賞会参加メンバー

鑑賞会には私と五十嵐君を含め5名が参加しました。

参加メンバーの名前と顔は 私のカメラで撮影した集合写真をご覧ください。

集合写真は五十嵐君の作品の前に並んで通行人にシャッターを押して貰いました。

写真の左側から猪狩恒男君、添田稔君、五十嵐君、そして入選作品を挟んで私、金成幸伸、右端が高木佑一君です。

私を誘ってくれた原君は所用の為、欠席との事でした。

3. 鑑賞会の概要

午前11時美術館内の入り口付近に集合とのことでしたが、私は 携帯に猪狩君の携帯データを入れ忘れていたため、連絡が取れず入り口付近できょろきょろとしておりましたところ 皆さんに見つけて貰い無事全員集合！？

新制作展の会場に入り 五十嵐君の 案内説明を 適宜受けつつ 勝手気ままに素人質問などしながら順繰りと展示作品を鑑賞して回りながら五十嵐君の入選作品前に至り記念写真の撮影となりました。

入選作品の今年の題名は

「巢領域Ⅱ」 大きさは例年同様 150 号(位で未確認)

絵は例年の題材の展開延長のようで 五十嵐君の概念をパッチワークの様に配置している様に見えますし 抽象画風の印象を感じました。

テーマの推移 流れから、毎年同じ主テーマをシリーズで高めているように思えたのですが五十嵐君の説明を聞いて私なりに絵の概念の理解が出来た、と錯覚？
以上ですが私の拙い文章では五十嵐君の素晴らしい作品について表現できませんのでアシカラズ。皆さんも機会がありましたなら是非とも実物をご覧ください。

4. 新制作展鑑賞の後は 五十嵐君が準備してくれていた「第71回行動展」の入場券を頂戴して全員で見て回りましたが 私は約2時間半の周回で ぐたくたに疲れ果ててしまいました。 絵画鑑賞も体力勝負ですね！！

私を除く4名は、この後、磐高18回卒在京会メンバーの堪り場となっている湯島にあるレストラン飛鳥に移動して「入選祝賀会を催す」とのことでしたが 私には他の約束があり 失礼させて頂きました。

今年の12月2日(金曜日)に開催予定の磐高18回卒在京会定例会には私も初参加の予定ですので 宜しく願い申し上げます。

以上、参加報告とさせていただきます。(記 金成幸伸)